

人 口

—10月31日現在—

人 口 10,076人男… 4,821人
女… 5,255人

世帯数 ……………2,597

転入 52 出生 7

転出 50 死亡 7

広報 た か も り

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②0611 [代表]



とじておくと役立ちます

—お も な 内 容—

- ことし一年、町政の足どり……………(2)(3)
- 草部診療所、6年ぶり再開……………(4)
- 盛会だった町文化祭……………(5)
- これから火災シーズン……………(6)
- 大きく改善された国民年金……………(7)
- 葉タバコ収納始まる……………(8)
- 高森その歴史・みんなの説法……………(9)
- みんながつくる町民のひろば……………(11)
- 町民文芸・おめでた・おくやみ……………(12)

大盛めしに挑戦

色見のめし食いまつり

五穀豊じょうに感謝し、山盛りについだおわんのめし一・九キロ（一升二合）を一気にたいらげる風変りな行事「めし食いまつり」が十一月十八日夜、下色見山鳥の岩下昭広さん宅で行なわれました。

下色見の熊野宮にある地蔵尊に旧暦十月二十四日、山鳥東・西組、井上地区でとれた農作物を供えて豊作を感謝、これを食べて火魔除（よ）けを祈願するならわしで約二百年前に始まったといわれます。写真は大盛りめしに挑戦する井上地区の住吉昭六さんと住吉忠次さん。



- ▷12月12日 平田医院 高森 ②0216
- ▷12月9日 馬原医院 高森 ②0646
- ▷12月16日 東医院 高森 ②0309
- ▷12月23日 寺崎医院 高森 ②0378
- ▷12月30日 小林医院 高森 ②0075

第172号
昭和48年

12月1日



難工事だった草部地区の「宮原—永野原線」は五年の歳月でこ
とし開通、(山村振興事業)

→開拓パイロット事業で南在
の中坂峠に大規模な牧野が
お目見え、取付け道路も完
全舗装され本格的な畜産経
営が図られています。



ことし 一年

町では、町議会はじめ広く各界のご協力を
得て「住みよい豊かな郷土づくり」をめざ
し、各種の基盤整備に取り組んでいます。

その成果の現れとして、ことしは高森・ブ
高千穂線の工事や、国道265号線(高森峠)



↑草部地区に待望の診療所が6年ぶり再開、
地元の医療福祉が増進されました。



↑4年がかりで改良工事が続けられていた河
原農免道路が3月から全面開通。河原—高
森間の交通の便がよくなりました。

町政の足どり

ブの大改修が着工されたのをはじめ南阿蘇広域事務組合による舗装
プラント、母子健康センターの建設ほか道路、農業、教育など幅広
い町の諸事業がすでに完工しました。そこで、今回は写真グラフ
で、この一年間の町政の足どりを概略まとめてみました。



↑第15回自然公園大会にご席された皇太子ご夫妻は一の宮町
の木落牧場で本町出品の肥後赤牛を興味深くご覧になりま
した。



草部北部小、中に近代施設の学
校プールが完成しました。
総工費は約千八百万円。



→阿蘇南部広域圏事業として本町
にアスファルトプラントが七月
に完成。道路舗装が容中句易に
なりました。



↑国道265号線道路改良工事は高森峠のト
ンネル掘削から始められました。



↑町恒例の風鎮祭がことしも花やかに繰りひ
ろげられ、29基の造り物に人気が集まりま
した。

町立 草部診療所、六年ぶりに再開

開業医四人が交代で

地元五百五十世帯に恩恵

町は無医地区になっていた草部地区の医療福祉を増進するため、町立草部診療所の再開をすすめていました。このほど高森町医師

会ははじめ関係機関の協力で六年ぶりに開設が実現、地元住民たちは暖かい医療の恩恵を受けています。草部地区は約五百五十世帯の二千二百人が住み、本町でも大字河原と並ぶ無医地区です。町立草部診療所は合併後の三十二年に旭化成白水発電所の建設事務所を無償で提供してもらい、草部社倉に開いたのが始りで、当時は大字尾下の古沢元吉医師が診療にあたっていました。



診療所で診察を受ける地元の子供

ところが、三十八年に同医師が自衛隊病院に就職したため、町の要請を受け町内の開業医四人が交代で、週一回ずつ出張診療をしていま

た。ところが、三十八年に同医師が自衛隊病院に就職したため、町の要請を受け町内の開業医四人が交代で、週一回ずつ出張診療をしていま

妊産婦らに福音

南部地区

母子健康センターの起工式

阿蘇南部広域事務組合（高森町など六カ町村）が本町に建設する「母子健康センター」の起工式が十月二十九日畜産センター西側の現地で阿蘇南六カ町村の町村長ら

約三十人が出席して行なわれました。関係町村では、これまで母子保健法に基づき母性、乳児への保健指導や健康診査などは実施してい



起工式でクワ入れをする増田組合長

した。しかし、受診者が少ないことや各医師の個人的な理由で四十二年の夏には四医師とも辞退を申し出、以来、事実上の閉鎖となっていました。このため、町では

保健婦を増員し、草部地区に常駐させるなど地元住民への保健対策を講じました。ことしに入って県側から要望されていたへき地診療所開設などの無医地区問題を県医師会も重視、医師の兼任管理を推進すべきなどの機運が高まってきたため、高森医師会もこれに賛同、十月から草部診療所がようやく再開されました。

診療所再開にあたっては、県が施設整備、運営費の三分の二を負担、診察台、消毒器具など真新しい器材がそろいました。なお、以前使っていた診療所は老朽化して使用できないため、当分、草部南部小学校の当直室を診察室にあてています。

ですが、施設を利用した住民サービスは徹底していません。そこでおおいっそう阿蘇南部の母子保健を増進するため、同組合が国の補助制度を利用して同センターをつくるものです。

計画では、敷地千三十平方メートル、鉄筋コンクリート平屋建て（三百六平方メートル）で、常時六人の妊産婦を収容する病室と診察室、産室が設けられています。また、施設運営は三人の職員のほか、本町医師会、助産婦会の協力で非常勤医師一人、助産婦二人、調理師一人が妊産婦の保護にあたることとなります。総工費は約三千万円、来年二月春には完成の予定です。

12月は町・県民税の納期です。滞納がないように注意しましょう。

来年は新しい企画で

観光農園 体制強化申し合せ

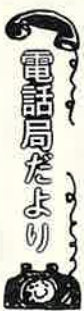
さきの九月連休に村山の共同クリ園を一般開放して催した「観光農園」の反省会が、十一月六日高森農協小会議室に地元農家ほか、町商工観光課、商工会、高森農協の関係者ら十人が出席して開かれました。

ねらったが、以外に客足は伸びなかった。これでは生産者側として採算が合わない」という意見が出されました。このため、全員でこんごの対策を検討した結果、ことしの観光農

園は、広告、PR方法が不徹底でもあり、また、各関係団体の協力体制も一貫性がなかったことを反省、来年の観光農園開催にあたっては四者がいっしょとなって組織づくりを固め、行業客の受け入れ体制と誘致にいま一層努力することを申し合わせました。その方策としては、①産交とタ

を盛り上げるための催し物を企画する。④生産物の販売価格をできるだけ安くする。などが検討され、こんご各団体の責任者で話し合いをすすめていくことになりました。

局のダイヤル自動化をすすめていきましたが、このほど工事を終り、いよいよ十二月五日午後二時から開通することになりました。これで高森局に加入した地区以外の南阿蘇地区は河陽郵便局の収容区域（南阿蘇局）となり、また阿蘇局に収容されていた阿蘇観光ホテル、湯の谷ゴルフ場一帯の電話も南阿蘇局へ収容替えとなりました。



月二・三両日、畜産センターで開かれ、終日大勢の参観者でにぎわいました。

町民の一年の文化的な創作、趣味の作品を一堂に集め、お互いの交流を図るこの文化祭も、ことしで五回目。

二日の開会式は岩下町長、吉良商工会長が会場入り口でテープカット、一般の入場が行われました。

会場には風物祭ちびっこスケッチ大会の入選作品百五十四点を、はじめ、落川遺跡（尾下）の出土品、高森手永政事古文書

楽しい子どもたちの作品もいっぱい。二階会場には、高森校区婦人会もハッスル。二階会場入口の展示即売コーナーで会員たちが作った漬け物を説明、販売するなど主婦の



野尻商工観光課長のあいさつとあ、地元農家から「観光農園」での収支決算と利用状況の報告があり、「ことはクリ拾いのほか、新たにトウキビ刈りやカラモ掘りに加え、イメージアップを

◆芸術の秋◆ 各部門の力作 千点を一堂に

盛会だった町文化祭



楽しい子どもたちの作品もいっぱい。二階会場には、高森校区婦人会もハッスル。二階会場入口の展示即売コーナーで会員たちが作った漬け物を説明、販売するなど主婦の

引上げられた年金額		49.1月 実施	
種 類		昭和48年12月まで	昭和49年1月から
老 齢 年 金	25 年 納 付	月 8,000円	月 20,000円
	10 年 年 金	月 5,000円	月 12,500円
	5 年 年 金	月 2,500円	月 8,000円
付 加 年 金	夫婦25年納付の例		夫婦25年納付の場合
	未定額分	8,000円	夫 定額 20,000円
障 害 年 金	妻定額分	8,000円	妻 定額 20,000円
	夫所得比例分	4,500円	夫婦付加年金10,000円
	夫婦で	20,000円	夫婦で 50,000円
遺 族 年 金	月1級=最低	11,000円	月 25,000円
	月2級=最低	8,800円	月 20,000円
母 子 年 金	月 8,400円	月 20,000円	子が2人以上のときは第2子が800円、第3子から400円加算
	子2人以上のときは第2子から1人 400円加算		
遺 児 年 金	老齢年金の半額	老齢年金の半額	
死 亡 一 時 金	10,000円~52,000円	17,000円~52,000円	

の国民年金制度の改正法案が、こ
のほど国会で成立し、国民年金が
た。その内容は、①「五万円年金

老齢年金は2.5倍に 自動スライド制も導入

大きく改善された国民年金



「の給付水準を確保する年金額の大幅な引上げ②自動スライド制の導入③五年年金の加入の再開④保険料額の改定⑤特例保険料の納付の再開⑥「年金の谷間」対策として老齢特別給付金の支給⑦障害範囲の二級拡大など画期的な改善となつています。みなさんも老後保障の柱となるこの年金制度を十分理解され、保険料の未納がないよう注意してください。

国民年金の老齢年金は、保険料を納めた期間、または免除された期間と合わせた期間が二十五年以上（昭和五年四月一日以前生れの上）

南阿蘇国民年金
委員研修会開く
畜産センターで

阿蘇南部の年金委員研修会は、十一月十六日阿蘇南部五カ町村の年金担当者として、畜産センターで開かれました。

これは県国民年金課、社会保険事務所が主催、年金委員の年金制度に対する理解と年金意識の高揚

人は、年齢により十年から二十四年に短縮）ある人が六十五歳に達したときに支給されることになってい

年金額の計算は、保険料を納めた期間については、現在一月あたり三百二十円、保険料が免除された期間についてはその三分の一の割合で計算されていますが、今回の改正で、昭和四十九年一月からの一月あたりの額が、三百二十円から八百円に引き上げられることにより年金額が大幅に増額されることになりました。

たとえば、二十五年間保険料を納めた場合の老齢年金の額は、現在八千三百二十円（月八千円）となつていますが、今回の改正では八千八百円（月八千円）の二十四万円（月二万円）となり、一挙に二・五

倍の引き上げとなりました。

また、夫婦五万円年金は、付加年金に加入することによって実現されることになりました。

つまり夫婦で二十五年加入した場合、定額分としては四万円（二万円×二人）ですが、付加年金に加入すると付加年金分として一万円（五万円×二人）が加算されて「五万円年金」の実現となるわけです。

です。研修に先立ち岩下町長が開会あいさつを行ない、次いで園田県国民年金課長補佐、大塚社会保険事務所長のあいさつがありました。

研修は①熊本県の国民年金事業②国民年金法の改正についてなどを主とした内容とし、県の係員がパンフレット、資料を配って、わかりやすく説明しました。このあと質疑応答では、各年金委員から活発な質問が出され、改善された内容を中心に大まかな年金制度を理

トープの上で洗たくものをつるしてかわかしたりしない③ガスコンロのまわりや上フキンなど燃えやすいものを置かない④ガスのゴム管は長すぎたり、古くなつて傷んでいるものを使わないようにし

このほか「消化の備え」としては消化器や水の入ったバケツなどを常々備えておく。バケツ一ぱいの水でも、早ければ石油ストーブの火ぐらいうすく消すことができるのを忘れないようにしたいものです。



いま一度防火点検を
失火原因 タバコと焚火が筆頭

県防災消防課で調べたことし一月から九月までの県下の火災実態は、発生件数四百十八件、内訳は建物三百一十一件、林野五十件、車輛三十一件など。建物火災は七十九軒にものぼりました。また、火災による死傷者は七十五人で、焼死七人、ケガ人六十八人となっています。

死亡者そのものは昨年同期に比べて九人減りましたが、発生件数が百二十一件も増えたのが特徴です。出火原因は相変わらずタバコの火の不始末が目立ち百一件とトッポ。次いでたき火の不始末など裸火の取り扱い不注意四十四件、ガス、コンロの原因四十件となっています。

その中で見逃せないのがタバコとたき火の不始末。十月二十九日高森昭和で起きた火災もたき火の不始末が原因とみられ、関係者に大きな損害をもたらしました。このような傾向から県防災消防課や町消防係では、日常の防火点検として次のような心構えが大切だと強調しています。

①電気器具は使い終わったならば必ずコンセントからコードを抜く

絶滅しよう師
走の飲酒運転

師走は忘年会など飲酒の機会が多い月です。運転者の皆さんは、「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」のスローガンを銘記し、飲酒運転は絶対しないように注意しましょう。

飲酒運転をしたら次のようなきびしい処罰がされます。

▼違反だけの場合①二年以下の徴役、または五万円以下の罰金。

▼事故を起した場合②ほとんどが体刑を受け、五年以下の徴役、もしくは禁固。△以上刑罰

▼人死させた場合③一〜三年間の新規免許がとれません。△民事関係▼

なお、飲酒運転に対する警察の取り締まりは、原則として逮捕されます。

▼違反だけの場合①十二点の減点と九十日（三ヵ月）の免許停止。

▼事故を起した場合②免許取消し処分を受け、二〜三年間は新規免許がとれません。△以上行政処分



生産高は2億円台へ 本町 葉タバコ収納始まる

本町の葉タバコ生産者は二百九十二日から草部臨時取り扱い所を皮切りに始まりました。ことは台風もなく天候がよかったため、まず豊作型。専売公社高森葉タバコ生産事務所の話ですと、これまで草部地区での五日間の買上げ総価格は三千五百五十三万七千円。単価引き上げもあって十アール当たり量目で二百九十キロ、代金二十二万一千円と好成績です。これを昨年に比べると、量目で七十七キロ、代金で九万円がそれぞれ増となっています。

また、品質も良くなり、なかには十アール当たり量目四百三十キロ代金で三十一万三千円の高収益をあげた農家もあったといわれます。

国税に不服のある人は 気軽に審査請求を

熊本国税局から

納税者の権利救済機関として、四十五年五月一日に国税不服審判所が発足してから三年が経過しました。この間に、熊本国税不服審判所管内（熊本、大分、鹿児島、宮崎）で提出された審査請求は約五百件で、そのうち、約半数は納税者の主張が認められていました。

このように、審判所では納税者の正当な権利利益の救済を通じて適正公平な税務行政の実現に努めています。税務署などから更正、決定や差し押えなどの処分を受けて、それに不服がある方は、お気軽に審判所をご利用ください。審査請求の手続きは、いたって簡単です。専門家に依頼する必要もなく、訴訟費用のような審査手続きについての費用は、いっさいかかりません。

△審査請求書の提出期限▽
①異議決定の通知を受けた日の翌日から一か月以内 ②青色申告者等で直接、審査請求をする場合は処分の通知を受けた日の翌日から二か月以内
△審査請求書の提出先▽
熊本市二の丸一―二 熊本合同庁舎内 熊本国税不服審判所
電話（五二）三三〇一

色見小剣道 クラブに団旗

町長が贈る



色見小学校（工藤実男校長、八十七人）の剣道クラブに、このほど岩下町長から団旗が贈られ、瀬井助役、小林南阿蘇剣友会長ら関係者が集まって引き渡し式がありました。

同校剣道クラブは、色見在住の松本満弘さん（八三）＝五段練士が大正十四年に近所の子どもを同校講堂に集めてけい古を始めたのが始まりで、四十九年の伝統を持っています。戦後、一時中断しま

したが、二十九年に復活、五年前から後輩の秋山信一三段（四四）が毎週火曜日の放課後、二十四人のクラブ員を相手に指導に当たっています。

贈られた団旗は、縦一・七メートル、横二・七メートルの大きなもの。あずき色の布地には、阿蘇五岳の絵を真ん中に「剣道、色見剣道クラブ」の文字が白ぬきで描かれています。式では、クラブ員を代表して安方信哉君（一一）が「団旗に恥じないようがんばる剣士になります」とお礼を述べ、さっそく高森小剣道クラブと親善試合を行なわれました。写真見は団旗の引き渡し式



< 9 >

郷土の歴史を学び郷土の先哲が残した偉業を偲ぶことは郷土を愛する町民にとってきわめて大切です。数多くの名所史蹟に恵まれた高森町の歴史を知るため、本欄では四月からシリーズで町文化財保護委員会の諸先生にお願いして「高森その歴史」を掲載していきます。

農協誕生の背景

本田耕亮

色見における農業史をひもとく時、おそらく百年、二百年とさながら十年一日のごとく同じ枠内で続けられた旧態依然とした農業形態を知ることができる。しかし、前述の昭和三十三年ごろを境とするそ菜園芸中心の画期的な作付け転換は、農家の収益面に多くの希望と夢をもたらした。

では、はたしてその当時だれによってこの計画が指導され、実行されたか。それは当時の色見村農協の生産指導関係職員と高森町のそれであった。

昭和初期に起きた日本の農村恐慌は、色見村内で百人を越す出稼者が数えられた。村民の約一割で

三男坊と数多い娘たちで、就職先も八幡製鉄とか北九州の炭鉱地帯など危険度の多い職場に限られた。また女は遠く岐阜あたりの紡績会社がおもで、そのほとんどは途中で結核におかされ倒れた。それは現在の出稼の自由さとは打って変わった単なる口べらしのための陰惨な農村史であった。

「農民のための農民の自衛」「組織による農民の政治力」「農民生活に食い込む商業資本、搾取資本の防波堤」戦前、戦中を通じて単に農産物に対する国家統制の代行者の側があった農業会が解消し昭和二十三年農業組合法に基づく

新たな装いを整えた農民の代表、指導機関としての農業協同組合が発足した裏面には、このような必然的な要素が存在していたからであり、純粹な社会主義理念の夢にもとづくものであった。

みんなの説法

大波小波が打ち寄せる海辺に雲を欺くかのようにおい茂った老木がそびえていました。この大木をめぐりに約五百匹の猿が住んでいました。

ある日のこと、果てしもない海のかたから、この海辺に雪山のような泡の山が漂ってきましした。ところが太陽が輝きはじめる、この泡の山はその光を受けて七色に光り、たとえようもない美しさに変わりました。

猿知恵のいわれ

猿知恵のいわれ

「ああ何という美しい山だろーああの山の上で遊んだら、さぞかし楽しいに違いない。どうだ皆んな連れだつてあの山に登ろう」だれいとうなくこのよう

【註】いたずらに歓楽を求めて無為に日々を過ごすことを猿知恵といい、現実を率直に見つめ、わが身は泡のようにはかないものであることをさとしたものです。（野尻正生）

町民文芸



俳句

朝寒むも勤めのうちと車踏む
めぐり椿調子合せて豆叩き
祖母山の初雪を見る今日の句座
国道に夜行車流れ風寒し
突風の埋もる枯葉舞ひ立たせ
秋祭済めば取入れ煙草出し
七五三思ひ思ひの晴れ姿
裸木となつてしまひし昨日今日
うすれ行く紅葉の山に心急ぐ
師の句集読みて長き夜泣き笑ひ
忘れ得ぬ事を果して冬ごもり
遠近の窓を飾れる柿の秋
旅人が祖母は雪かと車止め

肥後狂句

御神火会十月例会入選句

不自由さ、あぐらして食う箸がええ
週休二日 レジャー手当もつけくれ
ピチピチして配転させた甲斐のある
汗 いざ本番で握るメス
味覚の秋、差し入れで知るム所暮し
週休二日 庭の手入れも行き届き
不自由さ、五十過ぎたら目のかすむ
ピチピチして、若さ溢るるマスゲーム

岡本 琴司
浦塚 南夫
林田 一声
林田 瑤子

野尻あけび句会(十一月十八日)

野尻 誓道
野尻 いくよ
瀬井 ほか
藤井秋雪子
熊谷 つ子
草村 鶴代
瀬井てる女
草村あつ代
野尻 里女
瀬井せん女
熊谷こう女
赤星山雪女
瀬井 杏子

おめでた おくやみ

出生	S 48.10.16~S 48.11.15
(住所) (保護者) (出生児) (性別) (生年月日)	
上町 佐伯秀和 公寿 男 48.10.6	
津留 津留 豊美 女 48.10.17	
昭和田 欣二 泉 女 48.10.14	
横右 末喜 希 女 48.11.1	
森佐 征之 人 男 48.9.27	
町今 忠二 美 女 48.11.3	
下山 田慶 喜 男 48.9.24	
菅下 直正 雄 男 48.10.26	

死亡	S 48.10.16~S 48.11.15
(住所) (遺族名) (続柄) (死亡者) (年令) (死亡日)	
前原 後藤フミオ 夫 後藤 清春 61 48.10.21	
昭和 住吉 忠一 妻 住吉ツユ子 37 48.10.24	
上在 上野サカエ 夫 上野 一吉 79 48.10.25	
西中原 佐橋見千城 父 佐橋見真濱 78 48.10.25	
天神 島田 吉嗣 養母 島田ケサマ 84 48.10.28	
上在 立花ナツエ 同居者 中田勝太郎 62 48.11.3	
西丁 山室 ツユ 母 山室タミエ 92 48.11.6	
旭通 三森 勝義 母 三森ヨノエ 64 48.11.7	
草部 二子石 明 母 二子石マサエ 72 48.10.16	
野尻 佐藤 光雄 養母 佐藤ミサヲ 87 48.10.29	
	岩下 武久 75 48.11.3

ご寄付

全山の祖母紅葉も今さびれ
落葉にて結構今日も風呂がわき
山影に永久の眠りや木の実降る
点滴の病室静か菊薫る
舞ひ来る枯葉は蝶の如く膝

熊谷起代女
瀬井 英川
馬原その女
熊谷 紫雲
馬原 岳人

▽大字高森の坂本昇さんから五千円。
▽匿名希望の方から千円。

ありがとうございます

次の方々から心暖かいご寄付を
高森町社会福祉協議会へご寄付い
ただきました。厚くお礼申し上げます。

〔一般寄付〕

上色見前原 (後藤清春)
一万円 後藤 一朗
高森天神 (島田ケサマ)
一万円 島田 吉嗣
高森昭和 (住吉ツユ子)
一万円 色見山鳥

野尻河地 一万円 (山室タミエ)
色見西丁 一万円 (岩下武久)
色見山鳥 一万円 (三森ヨノエ)
一万五千元 (中田勝太郎)
工藤 公昭 三森 勝義
岩下 鈴 立花ナツエ

五千円 住吉 忠一
熊本市池田町 (渡辺政忠)
二万円 渡辺 清女
中峰ノ宿 (二子石マサエ)
五千円 二子石 明
高森上在 (中田勝太郎)
五千円 立花ナツエ